

事業名	動物愛護管理指導費			調書番号	43
細事業名	動物愛護週間事業費	財務コード	088403		
担当部課室	福祉保健 部 衛生業務 課 食品衛生・動物愛護 担当 (内線)			3456	

I 事業の概要

実施期間	始期 S48 年度 ~ 終期 年度	
実施主体	県(直営)	
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして
	県民(主にペットの飼い主)	動物愛護デーのイベントなどを通じ、動物愛護への理解が深まっている
結果、何に結びつけるのか	命あるものである動物の適正飼養	
内容	動物愛護デーの開催(山梨県獣医師会と共催) ・動物愛護図画コンクール表彰式、長寿犬飼育者表彰式 ・犬猫飼い方相談、犬猫健康相談、一日獣医師体験 ・その他動物に関する出展(動物クイズなど) ・県事業の紹介(動物愛護指導センター、動物愛護推進員)	

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度	
活動指標	動物愛護図画コンクール募集数 動物愛護デー来場者数	目標	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	
		実績(見込)	1,331	1,338	1,248	1,370	1,253	1,300	
		達成率	1,214	1,140	1,441	857	534	1,000	
		達成区分							
成果指標		目標							
		実績(見込)							
		達成率							
		達成区分							
決算(予算) 単位: 千円		706	755	720	698	752	823	963	

III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	c	評価	図画コンクールの募集については、例年一定の成果となっているが、この2年の来場者数の減少として、会場をアイメッセから昭和町総合体育館に変更したため利便性が落ちたと推測される。来場しやすく、より多くの県民に参加していただくような計画を設定する必要がある。
成果指標	b		動物の愛護と適正な飼養についての関心と理解を深めることができおり、意図した成果を上げている。

- ・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
- ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

県関との必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	動物の愛護と適正な飼養についての関心と理解を深めることができる。		
見直しの余地	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他(来場者を増やし、動物愛護の十分な普及ができるようなイベントを企画する必要がある)		
その他	説明			
見直しの必要性	有	動物愛護について、更に多くの県民が興味を持ち、その考え方を習得できるような機会として、動物愛護デーを盛り上げていくことが重要。		

V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

拡大	説明	R1知事施策に人と動物の共生社会の推進の取り組みがあり、遂行するためには、動物愛護の普及啓発の中心イベントである動物愛護デーを、更に拡大した開催を行うことが重要である。
----	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しが無い場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。